



Rotary International
District 2660

国際ロータリー 第2660地区

2013-2014年度のための

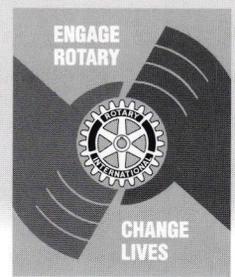
地区協議会

記録書



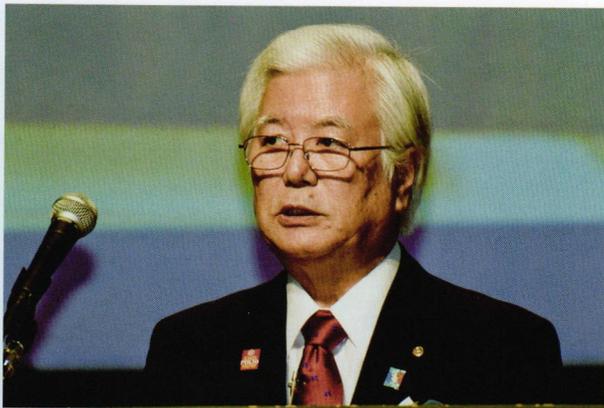
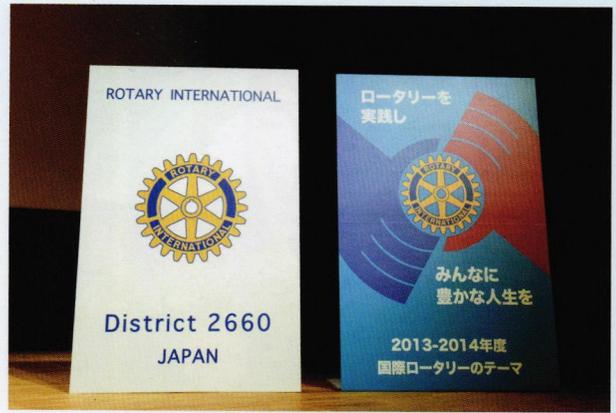
2013年4月27日(土)
大阪国際会議場

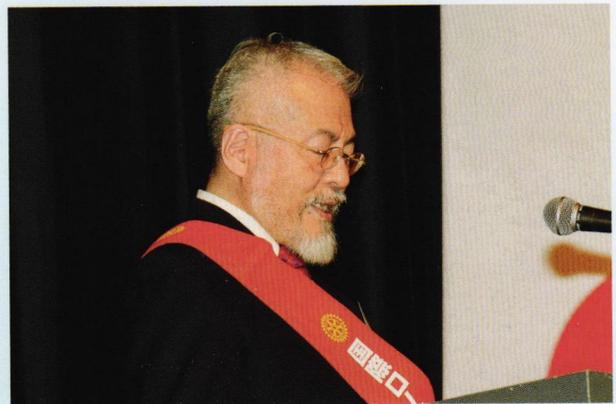
| | |
|-----------|--------------|
| ガバナー | 高島 凱夫 |
| ガバナー・エレクト | 福家 宏 |
| ホストクラブ | 八尾中央ロータリークラブ |
| コ・ホストクラブ | 八尾ロータリークラブ |
| コ・ホストクラブ | 大阪柏原ロータリークラブ |
| コ・ホストクラブ | 八尾東ロータリークラブ |



目 次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 写真集 | 1 |
| プログラム | 5 |
| 次年度の方針 | |
| ガバナー・エレクト 福家 宏 | 6 |
| 災害支援プロジェクトについて | |
| 災害支援プロジェクト委員長、直前ガバナー 岡部 泰鑑 | 11 |
| 新クラブ設立について | |
| 直前ガバナー 岡部 泰鑑 | 12 |
| 講演「RI戦略計画」 | |
| RI研修リーダー、第1ゾーンロータリー・コーディネーター 桑原 茂 ... | 13 |
| 部門別協議会 リーダー／サブリーダー | 15 |
| 地区協議会出席表 | 16 |
| 地区出席者一覧 | 20 |
| 地区協議会実行委員会 | 22 |









2013-14年度のための 地区協議会 プログラム

2013年4月27日(土) 大阪国際会議場

2013-14年度 第2660地区ロータリークラブ/下記各委員長 合計 11名

出席義務者：会長・幹事・SAA・クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・新世代奉仕
国際奉仕・ロータリー財団・米山奨学・クラブ研修リーダー

| | | |
|-------|---------------------------|--|
| 12:30 | 登録受付 (5階メインホール) | |
| 13:00 | 第1部 本会議 (5階メインホール) | 司会 松下 和彦 |
| | 開会点鐘並びに開会挨拶 | ガバナー 高島 凱夫 |
| | 国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」 | ソングリーダー 澤田 信子 |
| | 実行委員長挨拶 | 地区協議会 実行委員長 野中 志郎 |
| | 来賓・PG紹介 | ガバナー・エレクト 福家 宏 |
| | 歓迎の挨拶 | ホストクラブ会長 山本与志弥 |
| | 出席報告 | 地区協議会 出席登録委員長 玉井 利宏 |
| | 次年度のR I 及び地区方針 | ガバナー・エレクト 福家 宏 |
| | 災害支援プロジェクトについて | 災害支援プロジェクト委員長 直前ガバナー 岡部 泰鑑 |
| | 新クラブ設立について | 直前ガバナー 岡部 泰鑑 |
| | ガバナー・ノミニー紹介 | ガバナー・エレクト 福家 宏 |
| | ガバナー・ノミニー挨拶 | ガバナー・ノミニー 泉 博朗 |
| | 2013-14年度地区大会の案内 | 地区大会 大会委員長 吉村 清明 |
| | 講演「R I 戦略計画」 | R I 研修リーダー 第1ゾーンロータリー・コーディネーター 桑原 茂 |
| | 閉会挨拶 | 地区協議会 実行副委員長 井川 孝三 |
| | ロータリーソング「手に手つないで」 | ソングリーダー 澤田 信子 |
| 15:00 | 閉会点鐘 | ガバナー 高島 凱夫 |
| 15:20 | 第2部 部門別協議会 | |
| 17:00 | 終了 | |

※第1部の映像、第2部の音声をDVDに収録しております。



次年度の方針

国際ロータリー第2660地区
ガバナー・エレクト 福家 宏

1. 国際協議会2013
2. ロン・D・バートンRI会長エレクトについて
3. ロン・D・バートンRI会長エレクトの
テーマ講演
 - ①ポリオ撲滅
 - ②Future Vision Plan 未来の夢計画
 - ③会員維持増強
 - ④2013-14年度RIテーマ
4. テーマ・フラッグの解説
5. 2013-14年度地区方針
6. 2013-14年度5つの目標

1. 2013年1月13日(日)~18日(金)、米国カリフォルニア州サンディエゴにて開催された国際協議会2013に参加して参りました。地区ガバナーに就するには、国際協議会への参加が義務付けられています。国際協議会のために設定された研修の全てに出席しなければ、地区ガバナーには就任出来ません。当然私も日本から出席した34地区のGEと共に、全てのプログラムを消化して帰国致しました。厳しいスケジュールではありましたが、日本の他地区のGEの皆様と親睦を深め、世界のロータリアンと様々な形で交流出来たことは実に楽しいことでありま

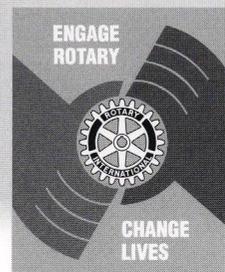
した。プログラムを通して私は多くのことを学んだ積りですが、その内容をどのように効果的に皆様にお伝えをして行くか、大きな課題を抱えながら帰って参りました。

2. 次年度の国際ロータリー会長ロン・D・バートン氏は、1979年以来、米国オクラホマ州ノーマンRCの会員であり、職業は弁護士です。これまでに、地区ガバナー、恒久基金米国アドバイザー、ロータリー財団地域コーディネーター、インターナショナル・ポリオ・プラス委員会委員、ロータリー財団管理委員などを歴任され、2008-09年度は財団管理委員会副委員長、また、未来の夢委員会委員および副委員長も務めておられます。

3. それでは国際協議会2013開会本会議におけるロン・バートン次年度RI会長によるテーマ講演の内容を皆様にお伝え致します。

① ポリオ撲滅

今から26年前、私(ロン・バートン氏)がガバナー・エレクトのころ、ロータリー史上初めてポリオ・プラスへの募金キャンペーンが始まりました。「地球上からポリオを撲滅する」プログラムは、当時から実現は容易でないことは分かっていたましたが、2005年には成功させる



目標を立てました。残念ながら2013年を迎えた今もポリオの撲滅には至らずに活動は続いています。しかしながらこの大変困難なプログラムは、次第に終結へと近づいています。そして今日、この仕事を終わらせるガバナーとなる皆様の前に私は立っています。

② FVP : Future Vision Plan 未来の夢計画

現在は、ロータリアンにとって興奮に満ちた時です。ロータリーの全盛期がこれからやってくると私は信じています。ポリオの撲滅がかってないほど実現に近づいている今、私たちは、ロータリーの歴史における一つの章の終わりのページを書こうとしています。そして、未来の夢計画の開始は、ここに新たな章の第一ページを書き出そうとしています。

未来の夢計画は、ロータリー財団の新たな時代の幕開けです。ロータリーの素晴らしさをすべて取り入れた未来の夢は、さらに規模が大きく、持続可能な国際プロジェクトを促すと同時に、地域社会のニーズに応える地元プロジェクトでの柔軟性を高めることによって、ロータリーを新しい次元へと昇華させるものです。

③ 会員維持増強

新しい会員の勧誘が成功して入会が承諾され、その人が会員となっても、皆さんの仕事がそれ

で終わるわけではありません。むしろ、仕事はそこから始まります。新会員を指導し、彼らがクラブで重要な役割を担い、ロータリーで満足感を得られるようにしなければなりません。ロータリーに入会した新会員全員を維持できれば、会員増強など問題にならないはずで、毎年、ロータリーには、およそ12万人という大勢の人が入会します。しかし毎年、ほぼ同じ数の会員が退会しています。15年以上にわたり会員数が約120万人にとどまり、会員数が横ばいとなっているのは、このためです。本腰を入れなければならない時が来ています。私たちは行動を起こさなければなりません。退会者に目を向け、退会理由は何なのか、また、それについて何かできることがあるかを考えるべきです。私たちは、2015年までにロータリーの会員数を130万人まで増やすことを目標として掲げています。

④ 2013-14年度RIテーマ

今皆さんは、生涯ロータリアンであり続けたいとお考えでしょう。そう思ったきっかけが何であれ、それをほかの人々と分かち合い、彼らにもそのきっかけが見出せるよう手伝ってあげてください。ロータリアンが関われば、また、ロータリアンが積極的になれば、人々の人生を豊かにすることができるのです。

これからガバナーとなる皆さん、この理由か



ROTARY INTERNATIONAL 2013-2014

ら私は

2013-14年度のテーマを、

Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」

といたしました。

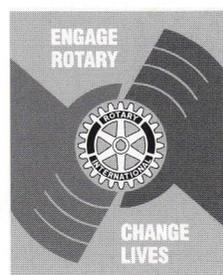
2013-14年度のガバナーとなる皆さんの役目は、ロータリアンに意欲を与え、積極的な参加を促し、より良い世界を築く力の一部となる機会を分かち合うことです。ロータリーの未来のために私たちにできる一番重要なことは、すべてのロータリアンが積極的に参加し、最大限に自己を生かせるよう支援することです。ロータリーの奉仕の発展を心から願うならば、今、ここにいる私たちが抱いているのと同じ気持ちを、すべてのロータリアンに抱いてもらわなければなりません。皆さんは選ばれた方々です。クラブの会員として選ばれ、ガバナーとして選ばれました。皆さん一人一人は、ロータリーのリーダーとなる責任を引き受けることを選びました。

今一つだけ、皆さんにお約束できることがあります。それは、皆さんがどれほどの達成を遂げようと、次年度にどのような奉仕を行おうと、一番豊かになるのは、皆さん自身の人生だということです。

さあ、今、その時が来たのです。私たちはともにこの旅に出発します。力を合わせて、ロー

タリーをより良い未来へと導き、「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」もたらしていきます。

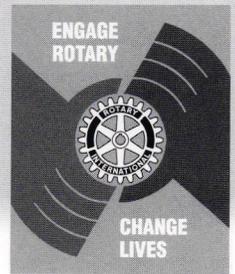
以上がロン・D・バートンRI会長エレクトのメッセージの要約です。



4. 次年度RIテーマをイラストレイトしたテーマ・フラッグの色のうち、**ブルー**はバートン氏出身のオクラホマ州旗の色で、オクラホマの青い空を表しています。また**赤**はバートン氏出身のオクラホマ大学の校旗の色です。Engageは「歯車をかみ合わせる」という意味で、互いの力を合わせて実践し従事し、人々の人生を豊かにすることを象徴的に表しているということです。

5. 『RI 第2660地区 2013-14年度地区方針』

次年度RIテーマの和訳は「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」であります。私はこの和訳には些かですが疑問を覚えます。ロン・D・バートン会長エレクトは、開会本会議で Change their lives!! と言われましたが、同時



にChange your lives!! ということも述べておられます。私は次年度RIテーマを尊重しつつ、「**ロータリアンが奉仕を実践した時にはロータリアン自身の人生が豊かになる**」というバートン氏のメッセージを受ける形で、次年度当地区の方針を次の通りと致しました。

「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」

Participate!!

～参加し、敢行しよう～

1人でも多くのロータリアンにRIやロータリー財団プログラムに**参加**をして頂きたい。立案した計画が困難を伴っても是非勇気をもって**敢行**して頂きたい。これが私の思いと願いです。

"Participate" これは、日本人初のRI会長を務められた**東ヶ崎潔氏のRIテーマ**です。私はこの言葉を心に刻み、この言葉を拝借して、そのまま地区の方針にしたいと考えました。「**参加し、敢行しよう!!**」であります。どうか皆様のご理解を頂きたくよろしくお願い申し上げます。

6. さて地区としては何にポイントを置いて活動を進めて行くか? 私は5つの目標を定めました。

「**クラブのサポートと強化**」に関わるものとして

①会員の維持と増強です

会員の維持のためには入会后年数の浅い会員に出来る限りRIやロータリー財団のプログラムに

参加するように工夫して頂きたいのです
続く3つは「**人道奉仕の重点化と増加**」であり

②ポリオ撲滅への努力

③FVPIによるプロジェクトの成功

④東日本震災復興支援

そして「**公共イメージと認知度の向上**」に関わる

⑤広報活動

この5項目に重点を置いて活動して頂きたいと、強く念願しております。

●ここで**ポリオ撲滅活動**について述べたいと存じます。RIがポリオ・プラス計画を立ち上げたのは1985年です。ロータリーはこれまで、世界ポリオ撲滅活動へ10億米ドル以上を寄付しました。ロータリーの活動に触発されて世界保健機関がポリオ撲滅の決議を採択し、1988年に世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)が発足しました。全国一斉予防接種日(NID)には、子供たちへのワクチン投与活動に数多くのロータリアンが参加してきました。今やポリオ常在国は2011年1月以来インドが消えて、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国のみです。RIがポリオ撲滅活動を開始して4半世紀を経て、ポリオ根絶まで本当に「もう少し!!」のところまで来ているのです。確かに最後の1%の撲滅は至難であり、費用も労力も要します。厳しい状況にはありますが、私たちは「必ず地球上からポリオを根絶する」という強い意志を持って、今一度努力しようではありませんか。



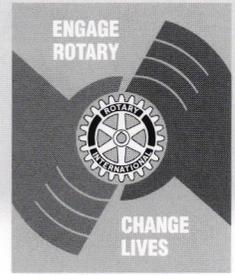
ROTARY INTERNATIONAL 2013-2014

●東日本大震災から2年が経ちました。私たちは未曾有の大災害を目の当たりにし、皆様とともに数々の支援活動を続けて参りました。被災地のロータリアンに出会いますと、皆様は「有難うございます」とお礼を申されます。しかし私は「私たちの方こそ奉仕の機会を与えて頂き感謝です」と申し上げております。ロータリーの奉仕は「してあげる」のではなくて「させて頂く」ものであることを常に心に留めておくべきだと思います。その心を持って実施するロータリーの奉仕の実践は、人々にも自分自身にも感動を与えるのだと、私は強く感じている次第です。

●さあ皆様!! 私たちが取り組むべき課題は、少なくありません。私たちが勧誘した新しい会員が、1年も経たないうちに裏口から出て行くようなことが無いように、新しい会員にも役割を分担しクラブの強化に取り組んで下さい。FVPプロジェクトが本格始動する年、プロジェクトには出来る限り多数の会員に参加を呼び掛け、新しい会員にも参加を促すことが大切です。そして貢献した会員を皆で称えましょう。私たちはこのように人々の人生を豊かにする働きをすることで自らが豊かになって行くのです。ロータリーだからこんなことが出来るのです。

●どうか皆様!! **Participate !!** 「参加し、敢行して下さい」そして「感動の体験を人々にも与え、自らも感動を」体験して下さい。次年度

に向けての私の思いは、以上の通りです。ともに前進致しましょう!!



災害支援プロジェクトについて

高島 啓一

災害支援プロジェクト委員長 岡部 泰鑑
直前ガバナー

今年度災害支援プロジェクト委員長の岡部です。次年度委員長は高島ガバナーですが、この度は私が発表させていただきます。

次年度の災害支援プロジェクトの方針は今年度と同様に

- ・ 現地ニーズの的確な掌握体制の構築
（各クラブ活動の連携と地区独自の支援）
- ・ ニーズの見極めと優先順位付け、各クラブへの的確なフィードバック
- ・ 各クラブ協同プロジェクトの仲介と必要資金の全クラブへの支援要請
- ・ ガバナー月信にて活動状況随時報告
- ・ 各地区委員会等での機会ある度に、バスセッションや講演を通じての支援の啓蒙

以上のことを主軸に進めて行きたいと思えます。

震災の年より2年、支援プロジェクトを進めてまいりました。特に今年度に至っては、各クラブ独自で支援活動を進めて下さり、大変感謝申し上げます。その中でも更に地区へ支援活動の資金を多く頂き、有難うございます。昨年7月より今年4月11日現在、4,781,020円を預かせて頂き、7件の各クラブ申請の支援活動に、地区資金を助成し、現残高は2,891,120円です（現在2件検討中）。

まだまだ当地区に多くの支援要請が来ております。地区としては皆様に申しあげました通り、要請項目に優先順位を付け、ニュースレターを用いて各クラブをお願いをしておりますが、反応が悪く少々困っております。地区としては各クラブ支援活動の助成金として、最大70万円の支出を決めており、なおプロジェクト総額に対する地区助成金比率を50%以内としており、支援内容は人道的支援を原則としております。次回並びに次年度からはニュースレターではなく、各クラブに緊急災害支援要請として、各クラブ会長・幹事、並びに社会奉仕委員長に向けて発信してまいります。

最後に、PETSの時にもお願い申しあげましたが、次年度も各クラブより5万円以上の地区資金をお願い申し上げます。クラブの大小がありましようが、それはそれなりに考えて頂き、より5万円以上、重ねてお願い致します。

東北は遅々として復興は進んでおりません。福家ガバナー・エレクトは先程「痛みを伴う奉仕こそ奉仕」と言われました。そのところ、宜しく。

ご清聴有難うございました。



ROTARY INTERNATIONAL
2013-2014

新クラブ設立について

直前ガバナー 岡部 泰鑑

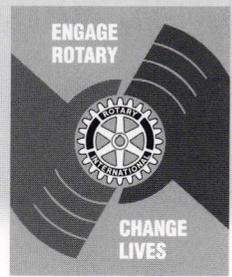
高島ガバナー年度に新クラブが設立致しました。

新クラブは今月16日付で国際ロータリーにより認証されました。名称は“大阪みおつくしロータリークラブ”です。このクラブはガバナー月信にて経過報告をしておりました、仮称 大阪ファンタジーロータリークラブです。ファンタジーとは欧米ではあまり良い意味を持たないということで“大阪みおつくしロータリークラブ”となり、例会日は毎週木曜日午後2時30分から3時30分のティー例会です。例会場所は大阪大学中之島センター9階。多くの方々のメイクアップをお待ち申し上げます。

なお、チャーターナイトは、6月17日（月）午後6時より太閤園の予定。IM所属は第8組と致します。

地区内84番目の全国で初めてのティー例会のクラブです。

どうか宜しくお願い致します。



講演「RI戦略計画」

RI研修リーダー、第1ゾーンロータリー・コーディネーター
桑原 茂

私は岩手県と宮城県からなるRI第2520地区の塩釜RCからまいりました。この度は当地区の井上暎夫コーディネーターを介し、福家宏GEのご依頼でおうかがい致しました。こちらの地区には菅生様、近藤様と2人の元RI理事がおられ、一度おじゃまして皆様とロータリーについてのお話をさせていただきたいと思っておりまして、大変うれしく光栄に感じております。

本日はRIの戦略計画について、私なりにお話しさせていただきます。

まずその前に、東日本大震災に際してはこの地区の皆様には多大なるご支援をいただき、ありがとうございます。現地では、復興はまだ続いております。今後ともご支援をお願い致します。

RIの戦略計画の目的は、魅力あるクラブづくりでございます。クラブ活力を再生させていくことが重要です。ロータリーが第2の世紀を迎え、RIは組織と活動を見直すため戦略計画の策定に着手しました。規定審議会やロータリアンの意識調査などを経て、計画の内容が検討されました。

その結果として、3つのニーズが挙げられました。「会員同士のつながり」「アイデア交換」「リソースの提供」です。RI理事会ではこれらの優先項目に応えるため、様々な取り組みを行っています。これにより成功の鍵として「強いクラブ」→「素晴らしいプロジェクト」→「強烈な印象」→「会員と支

援者の増加」→「大きな地球規模の成果」→「公共イメージの向上」→「寄付貢献の増加」といったサイクルの発生を想定しています。

またクラブのサポートと強化に関しては「ロータリークラブセントラル」が新たに加えられました。これはクラブの現況を分析し、次年度の目標を設定して計画を策定、そしてその進捗を確認するシステムです。その機能については、現在も開発が続いています。

クラブではこのツールを活用し、プログラムの立案から完了までの進捗を確認できます。これにより各クラブで広報目標を設定したり、目標の達成状況を確認したりできます。ぜひ皆様もお試しいただきたいと思います。

次に人道的奉仕の増強と増加についてです。ポリオ撲滅や水と衛生、新世代奉仕などはこれを目標としております。ロータリーは今後も、他の団体とも協力しながらこの目標に取り組んでまいります。

ロータリーの新しいオンラインツールである「ロータリー・ショーケース」では、各クラブの行ったプロジェクトを紹介することができます。写真やビデオのほか、事業の様々なデータを掲載可能です。こちら先ほど福家GEからもご紹介がありました通り、ご活用いただければと思います。

公共イメージと認知度の向上につきましては、



ROTARY INTERNATIONAL 2013-2014

インターネットの様々なツールや機能を利用して奉仕プロジェクトなどロータリーの独自性を多くの人に伝えることができます。またロータリーの公共イメージを、地元と海外の両方で向上させることができます。具体例としましては、公共イメージ・コーディネーターを設置しました。

さて後半は戦略計画をよりわかりやすくお伝えするため架空のクラブを見立て、戦略計画を導入して成功した例を物語的にご紹介致します。

ある日、一人の若い女性がロータリーに興味を持ち「青空RC」に入会しました。しかしこのクラブは退屈な例会やマンネリ化したプロジェクトといった数々の問題点を抱え、彼女にとって決して満足いくものではありませんでした。

この状況を何とかするために彼女は友人を誘い、各方面から有益な情報を集めました。地区内のリーダーたちからアイデアをもらい、クラブに変化をもたらすためにベテラン会員とも話し合いました。そして伝統を守りつつ、若い会員にとっても楽しいクラブに変革するために協力してもらおう同意をとりつけたのです。

全会員にアンケートを実施、その結果に基づいて長期的な目標と行動計画を策定しました。そしてこれを実現するため、ベテランと若手を交えた実行グループを立ち上げたのです。調査結果では年齢を問わず、同じような意見が寄せられました。皆がクラブ例会の改善の必要性を指摘しました。そこでグループをつくり、それぞれが例会を担当することにしました。やがてグループ間で、より楽しい例会を作ろうと競争意識が芽生えました。

会員は皆、コミュニケーションの重要性を認識していましたので、詳しい人材に担当してもらい効果的な情報提供方法を確立しました。オンライ

ンツールを活用して情報を共有する方法を学ぶこともできました。

またクラブ協議会を開いて、長年行っていなかった社会奉仕事業の実施を計画しました。これにより、互いに親睦を深めることができました。その結果、クラブの活動が非常に充実したものになったので、この後も3ヶ月ごとにクラブ協議会を開くことにしました。

青少年交換プログラムについては、地元高校の協力も得て高校生を台湾に派遣、オーストラリアとも交換留学を開始しました。クラブ内では、すべての会員が学生と交流できるようにスケジュールを調整しました。国際大会などに参加した会員の興味深い体験談に触発され、他の会員の参加意識も高まりました。

こうした取り組みが実を結びクラブの会員数は増加、これに伴い増加した予算もより慎重に使うようになりました。例会の出席率も向上し、短期間で魅力あるクラブに生まれ変わることができたのです。

戦略計画とは、自分のクラブが活性化することです。無計画に事業を実施するよりも、よく計画を練ってから実行した方が大きな成果が上がります。

どうか皆様のクラブでもよく計画を練っていただき、福家ガバナーの年度が素晴らしいものになりますことを期待致します。

最後になりますが、事務局員を雇われているクラブはございますか。結構いらっしゃるようですが、事務局員がしっかりしているクラブでは、良きロータリアンは育たない、というのが私の持論です。

以上で私の講演を終えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

■部門別協議会 リーダー／サブリーダー

| 部 門 | リーダー | サブリーダー |
|------------------------------|-------------------|--|
| 12階 特別会議場 会 長 部門 | ガバナー・エレクト 福家 宏 | ガバナー・ノミニー 泉 博朗 (大阪帝塚山) 次年度地区代表幹事 山田 正雄 (八尾中央) 次年度財務委員長 片岡 基博 (八尾中央) |
| 10階 1003号室 幹事・SAA 部門 | パスト・ガバナー 神崎 茂 | 地区研修委員 岡田 耕治 (東大阪東) 地区代表幹事 村橋 義晃 (大阪中之島) 次年度地区会計 松下 和彦 (八尾中央) |
| 10階 1001号室 クラブ奉仕 部門 | ガバナー 高島 凱夫 | 次年度クラブ奉仕・拡大増強委員長 吉村 昭 (大阪平野) 次年度広報委員長 岡村 剛行 (大阪東) |
| 12階 1202号室 職業奉仕 部門 | パスト・ガバナー 松本新太郎 | 次年度職業奉仕委員長 岡本 雄介 (大阪大手前) 地区研修委員 鈴木 洋 (八尾東) |
| 10階 1002号室 社会奉仕 部門 | パスト・ガバナー 新谷 秀一 | 次年度社会奉仕委員長 西宮 富夫 (箕面) |
| 5階 メインホール 新世代奉仕 部門 | 直前ガバナー 岡部 泰鑑 | 次年度青少年交換委員長 辻村 和弘 (大阪大手前) 次年度青少年活動委員長 西本 健二 (吹田江坂) 次年度ローターアクト委員長 久保 義誓 (茨木) 次年度インターアクト委員長 松井 隆雄 (大阪天王寺) 地区研修委員 岩津 陽介 (大阪御堂筋本町) |
| 10階 1009号室 国際奉仕 部門 | パスト・ガバナー 横山 守雄 | 次年度国際奉仕委員長 栗原 大 (大阪フレンド) 地区研修委員 畑田 耕一 (豊中) |
| 10階 1006・7号室 ロータリー財団 部門 | パスト・ガバナー 大谷 透 | ロータリー財団委員長 溝畑 正信 (東大阪東) 次年度資金推進小委員長 今西 敦之 (八尾) 次年度ポリオプラス小委員長 木村 芳樹 (大阪南) 次年度地区財団資金管理小委員長 和氣 主 (大阪北梅田) 次年度補助金小委員長 宮里 唯子 (茨木西) 次年度補助金小委員会 四宮 孝郎 (大阪西南) 地区補助金・グローバル補助金担当グループリーダー 梅崎 道夫 (大阪城南) 次年度補助金小委員会 田邊 司郎 (寝屋川) 奨学金・学友・ロータリー平和フェローシップ担当グループリーダー 職業研修チーム担当グループリーダー |
| 10階 1008号室 米山奨学 部門 | パスト・ガバナー 若林 紀男 | 次年度米山奨学委員長 西谷 雅之 (大阪城南) 地区研修委員 磯田 郁子 (大阪東淀ちゃやまち) |
| 10階 1004・5号室 クラブ研修リーダー 部門 | パスト・ガバナー 井上 暎夫 | 地区研修委員 五味 千秋 (大阪心斎橋) |

地区協議会出席登録リスト

| IM組 | クラブ名 | 会 長 | 幹 事 | SAA | クラブ奉仕 | 職業奉仕 |
|-----|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|
| 1 | 池 田 | 田嶋也寸志 | 柴田 宜孟 | 奥村 昌也 | 塩崎 一義 | 鶴原 英生 |
| 1 | 池田くれは | 松室 利幸 | 奥村 宗彦 | 服部 潤承 | 森 茂寛 | 岸添 広一 |
| 1 | 箕 面 | 上島 一彦 | 庄司 修二 | 山下 恵司 | 川端 崇且 | 浦 収 |
| 1 | 箕面千里中央 | 原 暎 | 森本 光 | 橋本 幸繁 | 奥井 正光 | 上野 弘之 |
| 1 | 豊 中 | 横田 広司 | 武枝 敏之 | 児島 義介 | 松尾 宗好 | 小牧 義昭 |
| 1 | 豊 中 南 | 水野 茂 | 森本 裕次 | 多田 朋美 | 秦 博文 | 西野 修 |
| 1 | 豊中-大阪国際空港 | 田中 竹二 | 齊城 正之 | 中尾 正三 | 渡邊 克一 | 上西 利三 |
| 1 | 豊 中 千 里 | 森田 正治 | 地寄 剛史 | 森田 亮介 | 藤谷 和憲 | 小西 康仁 |
| 2 | 茨 木 | 土手 基史 | 中西 康良 | 多田 節子 | | 掛谷 建郎 |
| 2 | 茨 木 東 | 木本 誠一 | 瀧川 理也 | 鱈洲 健三 | 平松 克一 | 松尾 康弘 |
| 2 | 茨 木 西 | 橋本 善治 | 岩上 高幸 | 新井 勝二 | 川尻 勝久 | 佐々木良高 |
| 2 | 千 里 | 上橋 芳雄 | 御前 治 | 小谷 澄信 | 粉川 雅至 | 上島 一夫 |
| 2 | 千里メイプル | 藤田 芳浩 | 古山 柄博 | 黒川 彰夫 | 村田 純子 | |
| 2 | 摂 津 | 飯室 正樹 | 北畑 瑞穂 | 望田 成彦 | 郷木 健 | 下村 三郎 |
| 2 | 吹 田 | 平山 直樹 | 河内 幸枝 | 清金 慎治 | 上本 博 | 荒起 一夫 |
| 2 | 吹 田 江 坂 | 西山 俊明 | 新井 性哲 | 田中 弘 | 吉野 通洋 | 八橋 志夫 |
| 2 | 吹 田 西 | 石崎 克弘 | 井伊圭一郎 | 橋本 徹也 | 清水 大吾 | 榎原 一滋 |
| 2 | 高 槻 | 川面 智義 | 伊藤 智秋 | 井前 憲司 | 橋本 憲治 | 朝倉 通憲 |
| 2 | 高 槻 東 | 高岸 久典 | 橋本 光司 | 市田 忠夫 | 野村定昭・近森信人 | 森山 鐵男 |
| 2 | 高 槻 西 | 森本 茂 | 永井 和夫 | 森本 武志 | 西井 忠義 | |
| 3 | 大 東 | 上田 正義 | 小川 芳男 | 中嶋 啓文 | 高島 登 | 佐藤多加志 |
| 3 | 大 東 中 央 | 田中 正美 | 北田 宗男 | 白川 初美 | 長崎 弘芳 | 大和田雅江 |
| 3 | 枚 方 | 家高 健志 | 西本 和彦 | 仲 光男 | 田邊 誠 | 北田 栄一 |
| 3 | 門 真 | 西川 亮彦 | 河村 雄良 | 前田 成美 | 大井 節子 | 堀口 信彦 |
| 3 | 交 野 | 佐藤 義也 | 森脇 嘉三 | 井沼 浩造 | 山本 光二 | 小菓 裕成 |
| 3 | 香 里 園 | 浅井 勝彌 | 泰江 征樹 | 西尾 達夫 | 多田 雅彦 | |
| 3 | く ず は | 北川 順清 | 日野 守之 | 橘 喜久夫 | 小北 英夫 | 米田 勉 |
| 3 | 守 口 | 菊田 芳 | 正木 一光 | 廣瀬 彰久 | 川村 弘和 | 辻村 弘 |
| 3 | 守口イブニング | 福田 治夫 | 金丸 大介 | | | 佐々木 誠 |
| 3 | 寝 屋 川 | 上村 章 | 辻本 容治 | 山本 菊栄 | 中谷 廣一 | 奥本 義昭 |
| 3 | 四 條 畷 | 谷村 勝美 | 吉田 裕彦 | 田村 成明 | 田村 耕作 | 山口 愛彦 |
| 4 | 東 大 阪 | 国宗 範彰 | 横田 孝久 | 和田 眞実 | 岩佐 嘉昭 | 高林 茂 |
| 4 | 東大阪中央 | 鈴木 勝俊 | 金子 勝信 | 清水與一郎 | 三木 武志 | 岩崎 史郎 |
| 4 | 東 大 阪 東 | 広田 甫 | 水上 雅博 | 河村 幸司 | 吉崎 広江 | 寺田 秀興 |
| 4 | 東大阪みどり | 山本 昌宏 | 竹内 靖剛 | 北井 孝彦 | 後藤 正憲 | 福田 照男 |
| 4 | 東 大 阪 西 | 弓手 宏亮 | 中野 博之 | 出口 孝明 | 松尾 治 | 高島 政康 |
| 4 | 大 阪 柏 原 | 笠井 靖彦 | 三田 昌孝 | 笠井 和憲 | 田中 義男 | 高井 康伊 |
| 4 | 大阪ネクスト | 茨木 繁 | 柳川 裕之 | 表 泰之 | 牧尾 晴喜 | 濱崎 寛和 |
| 4 | 八 尾 | | 川田 隆 | 松井 良介 | 山本 勝彦 | 村本 順三 |
| 4 | 八 尾 中 央 | 柳 雄二 | 藤木 良顕 | 山本与志弥 | 玉井 利宏 | 吉川日出子 |
| 4 | 八 尾 東 | 山田 哲男 | 品川 芳洋 | 上田 郁生 | 石川 義一 | 垂井 信哉 |

| 社会奉仕 | 新世代奉仕 | 国際奉仕 | ロータリー財団 | 米山奨学 | クラブ研修リーダー |
|-------|-------|-------|---------|-------|-----------|
| 山口 正之 | 福林 慎二 | 永田 大介 | 山本 格 | 田中 孝史 | 北野 紀之 |
| 中堂 武賢 | | 藤原 進 | 加藤 光祥 | 溝口 正孝 | 長嶋 貞孝 |
| 山中 剛司 | 河野 優作 | 芝野弘三郎 | 黄堂 泰昌 | 小島 哲 | 多田 慶三 |
| 山口 誠治 | 酒井 俊一 | 湯川 泰孝 | 東 良三 | 植田 豊實 | 西田 隆昭 |
| 小寺 潤一 | 米田 真 | 木屋 憲章 | 関谷 洋子 | 森本 博明 | 村司 辰朗 |
| 天羽 康雄 | 藤本 訓子 | 吉田日士光 | 長谷川龍司 | 榎原 茂樹 | |
| 安達 弘 | 松田 勝己 | 笹部 義平 | 藤原 明 | 中埜 肇 | |
| 樽井 郁夫 | 澤村 栄一 | 雨森 明 | 清水 文雄 | 樹下 行三 | 藤原 安雄 |
| | 加藤 眞一 | 吉田 政雄 | 土方 慶之 | | 坂井 正純 |
| 高岡 賢弘 | 阪本 一平 | 中尾 巖 | 松尾 泰博 | 矢野 克吉 | 西中 務 |
| 田中 猛夫 | 谷本 勲一 | 田村 英明 | 宮里 唯子 | 西尾 忠夫 | 西田 滋 |
| 奥谷 英夫 | 西田 泰晤 | 山田 実 | 奥本 利美 | 笠原隆之助 | 萬年 成泰 |
| 松田 親男 | | | 水島 洋 | 山下聰一郎 | |
| 宮野 恵子 | 茶橋 和夫 | 西島 英信 | 青木 和男 | 東谷弥八郎 | 辻井 正房 |
| 松永 茂 | 淀井 満福 | 豊谷久仁子 | 木原 一郎 | 山本 啓方 | 石井 博章 |
| 庄瀬 寛 | 成松 重人 | 堀田 稔 | 渡辺 忠雄 | 長島 寛 | 水谷 善博 |
| 大藤 辰弘 | 木田 昌宏 | 長屋 興 | 由上 時善 | 田中 孝男 | |
| 長山 正剛 | 河合 一人 | 西本恵美子 | 石田 佳弘 | 竹村 吉隆 | 中村 進一 |
| 齊藤 昇男 | 松浦 寛法 | 上場 俊哉 | 新井 昭二 | 宮崎 正人 | 村上 元昭 |
| | 土井 晶三 | | 長積 優 | | 高津 嘉夫 |
| 松原 清一 | 田川 和見 | 橋本 正幸 | 木村 克己 | 大東 弘 | 田中 祥介 |
| 岩本 静江 | 近藤 卓 | 北口千恵子 | 奥田周一郎 | 古川 真照 | 岡市 勝男 |
| 磯田 隆平 | 山中 脩自 | 山本 昇 | 森本 匡胤 | 堀田 修平 | 小野 俊文 |
| 池田 治子 | 滝川 博嗣 | | | | |
| 猪奥 年紀 | 田中 有 | 森 光雄 | 安養寺敏彦 | 冨田 利一 | 平田 至宏 |
| 的場信一郎 | 西邨 智雄 | | 南井 恒治 | | |
| 嶋田 愛親 | 木崎 信也 | 西田 英夫 | 國田 欣吾 | 原 正和 | 駕田 毅 |
| 石山 芳和 | 三宅 洋行 | 水谷 治人 | 博多 尚文 | 三浦 均 | 橋本 泰明 |
| 山中 昇司 | 元古 隆司 | 中道 茂 | 後藤 正伸 | 三谷 順一 | 大石 哲男 |
| 堀田 明彦 | 岡田 光司 | 森 時頼 | 畑山 勇 | 前田 浩輝 | 平田 大一 |
| 大平 宏美 | 景山 隆光 | 森末 尚孝 | 貝阿弥一郎 | 梶川 良一 | |
| 石橋 英司 | 杉本 哲也 | 山本 哲三 | 義之 清規 | 川端 啓一 | 山下 勝弘 |
| 岡田 忠彦 | 巽 完次 | 小川 高弘 | 佐井 義昌 | 出原 正秀 | 宮田 照男 |
| 吉川 宏 | 寺田美保子 | 川口 淳三 | 北埜 登 | 表 康之 | 石田 肇 |
| 村上 靖平 | 杉森 隆志 | 土井 健一 | 植田 稔久 | 野畑 吉一 | 松浦 利英 |
| 梅澤喜八郎 | 竹谷 立男 | 藤原 史嗣 | 川上 卓男 | 氏野 隆司 | 中西 英二 |
| 古賀 省三 | 松田 琢志 | 林 芳繁 | 竹内 寛 | 岡村 政嗣 | 山田 恭子 |
| 西村 恵一 | | 川本 典美 | 齋藤安以子 | 近藤菜穂子 | 住吉 誠 |
| 飯田 寛光 | 長竹 浩 | 児林 秀一 | 山陰 恭志 | 小林 成禎 | 澁谷登志和 |
| 片岡 基博 | 中井 敬和 | 吉村 清明 | 並河 勇人 | 泉 寛治 | 松下 和彦 |
| 大橋 秀造 | 堀内 伸也 | 高岡 正和 | 中澤 剛 | 上山 惣太 | 松本 智幸 |

地区協議会出席登録リスト

| IM組 | クラブ名 | 会 長 | 幹 事 | SAA | クラブ奉仕 | 職業奉仕 |
|-----|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 5 | 大阪中央 | 辻川 功一 | | 松原真由美 | 五十嵐 晃 | 松本 晴充 |
| 5 | 大阪堂島 | 栗山 吉昭 | 秋元 貞夫 | 佐藤太一郎 | 下村 一穂 | 竹田 秀道 |
| 5 | 大阪北 | 村上 満 | 一瓢 秀次 | 廣瀬 哲三 | 山下 嘉治 | 梶原 常義 |
| 5 | 大阪北梅田 | 伊藤 長範 | 岸本健之亮 | | 奥田太加幸 | 濱中眞希子 |
| 5 | 大阪西 | 高士 雄次 | 相崎 秀樹 | 林 邦彦 | 木越 正司 | 只井 恒満 |
| 5 | 大阪大淀 | 岩元 大輔 | 白野 孝明 | 浅井 清彦 | 上野 博史 | 篠原 良洋 |
| 5 | 大阪リバーサイド | 徳山 善雄 | 石田由美子 | 藤井 武治 | 中川 浩一 | 横田 泰介 |
| 5 | 大阪西北 | 小山 登 | 芦谷 裕一 | 吉岡 康雄 | 瀬田川昭俊 | 弓田 浩司 |
| 5 | 大阪そねざき | 長尾 依子 | 松尾 勝裕 | 宮崎 史子 | 柳田 恒明 | 永長 徹 |
| 5 | 大阪梅田 | 内海閑一郎 | 岡山 晃三 | 稲川 力吏 | 平山 博史 | 中西 藤和 |
| 5 | 大阪梅田東 | 山村 幸久 | 森田 大 | 松崎 駿介 | 山本 毅 | 岡本 好洋 |
| 5 | 大阪ユニバーサルシティ | 久保田秀一 | 鈴木 正明 | 河田 英子 | 福島 三雄 | 池山 博文 |
| 6 | 大阪 | 立野 純三 | 上山 直英 | | 吉川 秀隆 | 宮本 又郎 |
| 6 | 大阪東 | 塩谷 眞治 | 森 良夫 | 片山 勉 | 中川 清孝 | 辰野 久夫 |
| 6 | 大阪東淀ちゃやまち | 大澤 一雅 | 中村 隆俊 | 堀 育弘 | 山本 美徳 | 足立 博史 |
| 6 | 大阪城東 | 福山 信也 | 杉野 政史 | 高山 剛和 | 作本 貞子 | 乙部 浩司 |
| 6 | 大阪中之島 | 山本 肇 | | 西田 末彦 | 嶽下 勇治 | 伏見 隆 |
| 6 | 大阪大手前 | 大蔭 政勝 | 長谷 裕代 | 多田 秀観 | 中林 邦友 | 佐々木 宏 |
| 6 | 大阪城北 | 廣田 敦善 | 森本 匡昭 | 神田 勇人 | 原田 渉 | 松嶋 健二 |
| 6 | 大阪天満橋 | 在本 茂 | 中島 康之 | 石田 道夫 | 小寺 一矢 | 山田 雅浩 |
| 6 | 大阪鶴見 | 広瀬 芳和 | 鳥居 和久 | 覚野 廣久 | 木村 和雄 | 谷 康平 |
| 6 | 大阪一淀川 | 西川 正一 | 小田 晃三 | 山本 照彦 | 川合 雄治 | 高地 健 |
| 6 | 新大阪 | 横山洋一郎 | 北野 克美 | 松尾 寛 | 遠藤 義彦 | 鏑方 貞了 |
| 7 | 大阪フレンド | 三上美智子 | 林 尚美 | 土井 教次 | 青木禎一郎 | 山本 富造 |
| 7 | 大阪御堂筋本町 | 田村謙之助 | 北島 茂治 | 野中 昭彦 | 平井 満 | 今澤 哲朗 |
| 7 | 大阪南 | 小谷 公穂 | 熊田 昭夫 | 橋本 倫行 | 小林 豊光 | 暮松 毅 |
| 7 | 大阪難波 | 夏 明義 | 井上 満昭 | 石川 益三 | 伴井 敬司 | 菰田 吉見 |
| 7 | 大阪なにわ | 池側 一司 | 井戸 正 | 白方 彰三 | 藤本 滝三 | 早栗 義文 |
| 7 | 大阪南西 | 小池 廣子 | 小森 敏鑑 | | 高山 修治 | 中丸 義昭 |
| 7 | 大阪西南 | 青木 達也 | 吹田 康雄 | 亀井 築美 | 増田 國次 | 八木 洋子 |
| 7 | 大阪船場 | 清水 清一 | 塩尻 明夫 | 平山 明彦 | 澤田 宗久 | 沖 真一郎 |
| 7 | 大阪心斎橋 | 佐伯 良一 | 五味 千秋 | | 芦邊 康徳 | 田中 等 |
| 7 | 大阪うつぼ | 堤 昌彦 | 大竹 光明 | 大川 治 | 伊勢本眞裕 | 福本 桂三 |
| 8 | 大阪平野 | 三野 久光 | 榊原 克次 | 友藤 昭弘 | 小嶋美恵子 | 溝川 由英 |
| 8 | 大阪イブニング | 松浦 克巳 | 木下恵美子 | 長谷川孝夫 | 藤本加代子 | 末吉勘四郎 |
| 8 | 大阪城南 | 永井 正美 | 西澤 吉樹 | 濱田 由弘 | 南賀 勝之 | 内藤 喬皓 |
| 8 | 大阪咲洲 | 長元 良二 | 成山 肇 | 向井 哲己 | 小林 和由 | 山村 哲也 |
| 8 | 大阪天王寺 | 谷野 清孝 | 若宮 邦弘 | 米川 和作 | 羽賀 順一 | 渡邊 猛 |
| 8 | 大阪帝塚山 | 片山 一步 | 出口 統士 | 東 光宏 | 清水 常雄 | 西尾 良一 |
| 8 | 大阪東南 | 杉浦 勝昭 | 高崎 充弘 | 松井 研次 | 網本 浩幸 | 宇佐美貴史 |
| 8 | 大阪アーバン | 寺内俊太郎 | 村上 康司 | 大橋 正起 | 相内 真一 | 木本 直弥 |
| 8 | 大阪みおつくし (新設予定) | 中島 武 | 小林恵美子 | 山中 一 | 曾根 祥光 | 磯野 由理 |

| 社会奉仕 | 新世代奉仕 | 国際奉仕 | ロータリー財団 | 米山奨学 | クラブ研修リーダー |
|--------|-------|-----------|---------|-------|-----------|
| 吉岡 亨 | 大谷久仁雄 | 後藤 哲男 | 小谷 和靖 | 村上憲一郎 | 飯田 精三 |
| 茅野 哲郎 | 河野 耕作 | 長谷山法雄 | | 堀内 敏道 | 播磨 章一 |
| 柴田 高 | 清水雄一郎 | 吉川 健之 | 大野 康裕 | 鹿浦 英毅 | 大西 宏史 |
| 林 千晃 | 榮野 隆 | 神田章太郎 | 白石 章 | | 木下正二郎 |
| 上野 義治 | 栗村 卓家 | 井上 佳昭 | | 中村 壽孝 | 中安 敬人 |
| 末岡 稔啓 | 長谷川眞哲 | 井原 悦司 | 竹岡 和彦 | 辻 祥光 | 岡村 雄二 |
| 小谷 勝広 | 阪口 太 | 徳上 洋之 | 沖米田浩朗 | 杉原 尚志 | 藤本 佳之 |
| 小嶋 敦 | 近藤 治郎 | 河合 秀行 | 増田 久弥 | 勝亦 良彰 | 井上 芳郎 |
| 松田壽美子 | 庄田寿美子 | 杉山 知三 | 山野 拓也 | 岸本美智子 | 泉谷 雅造 |
| 秋元 延介 | 野口 秀夫 | 森 治 | 梶谷 健二 | | 稲本 一夫 |
| 河崎 昭男 | 竹内 剛志 | 近藤 幹雄 | 木岡 良介 | 市川 寛城 | 梶本 憲史 |
| 中井 周治 | 佐田 幸夫 | 小山田光正 | 大谷 定子 | 東 健三 | 豊島 秀郎 |
| 北 修爾 | 田所 伸浩 | | 塩野 秀作 | 亘 信二 | |
| 中川 宏一 | 新井 信彦 | 門田 雅輝 | 藤村 達夫 | 小切間俊司 | 盛田 三五 |
| 小坂 克彦 | | 米田 秀実 | 釧崎 克己 | 磯田 郁子 | 太田 廣重 |
| 黒松 克行 | 柳瀬 寛之 | 佐々木多喜子 | 薦田 光 | 伊坂 泰治 | 中山 浩志 |
| 安達 昌弘 | 松任 保勇 | 檜皮 悦子 | 吉田 了 | 下岡陽一郎 | 小林 俊明 |
| 曾我部律夫 | 竹森 敏磨 | 河野 裕一 | 山本 博史 | 仲村 元 | 金高 好伸 |
| 安田 正幸 | 中山 卓三 | 弓削 要 | 西田 恵心 | 加納 晴彦 | 丸井龍太郎 |
| 中村 健輔 | 三谷 滋伸 | 中野 格 | 成松 正和 | 山本 喬一 | 山村 朋史 |
| 津野 友邦 | 中村 浩一 | 秀島 博規 | 林 成志 | 石川 治均 | 清水 正憲 |
| 末松 大幸 | 津本 清次 | 青木 高 | 杉本 三郎 | 井本 敏弘 | 大藪 芳教 |
| 村角 末義 | 大石 博雄 | 中川 建司 | 久富 義郎 | 松本 圭右 | 生尾 雅美 |
| 瀧尻 浩士 | 美谷 栄二 | 橋本栄次郎 | 柴山 泰範 | 関 洋輔 | 安井 稔 |
| 高原 政巳 | 坂田 哲男 | 田 晴重 | 丸尾 照二 | 岡野啓治郎 | 岡田俊作・荒川雅行 |
| 田中 宏毅 | 松林 寛 | 小林 二郎 | 城戸 高史 | 曉 琢也 | 飯井 克典 |
| 徐 正萊 | 慶元 眞二 | 北田 好文 | 原田 直己 | 久保 幸一 | 荻原 奨 |
| 田ノ本智子 | 平松 悦子 | 吉川 仁育 | 岡藤 龍正 | 中山 文隆 | 田中 壽秋 |
| 野々原喜久夫 | | 木村 聡 | 矢田 勝利 | 南 樹一 | 光満 寛守 |
| 花房 雅博 | 深田 紹雄 | 村井史郎・坂中亮善 | 葉田いつの | 沖中 栄子 | 清水 高士 |
| 松谷 廣信 | 岡本眞太郎 | 林 拓 | 渡辺 忠之 | 甚田 隆康 | 片岡 清夫 |
| | 鴻野 精彦 | 井村 周平 | 日野 年澄 | 原田 繁 | 境 紀世治 |
| 藤井 健蔵 | 福田 大輔 | 土井 靖士 | 中山 重積 | 橋本 逸郎 | 湯尾 恵子 |
| 阿部洋治郎 | 竹下 晋司 | 福田 修 | 加満多真二 | | 柿野 雅一 |
| 煤村 大作 | | 三木 優 | 宇野 能史 | | 岩井 晶博 |
| 岡部 倫正 | 岩永 建保 | 小林 正啓 | 渡邊 邦雄 | 井上 裕貴 | 梅崎 道夫 |
| 山本 誠 | 西山 雅康 | 河部 悦子 | 上田 彰 | 宝上 富之 | 藪野 洋 |
| 吉岡 宏之 | 松井 隆雄 | 吉田 茂夫 | 河野 利紘 | 高木 正夫 | 新見 葵 |
| 井川 重典 | 渡邊 純一 | 浅野 敏行 | 清川 忠義 | 岡野 文雄 | 西田 敦宜 |
| 榛木 博章 | 松崎 達郎 | 長江 稔 | 橋本 友三 | 野崎 瞭一 | 三野 文男 |
| 中島 央雄 | 大塚 千代 | 吉馴 茂子 | 平田 治 | 川崎 博 | 山田芙美江 |
| 西村 兼一 | 砂田 千秋 | 廣内 裕子 | 松井 保 | 中山 景子 | 横田憲一郎 |

地区出席者一覧

| 役 職 名 | 部 門 | 氏 名 | クラブ名 |
|---|-------------------|--------------|-------------------|
| ガバナー | ク ラ ブ 奉 仕 部 門 | リーダー 高島 凱夫 | 大 阪 中 之 島 |
| 元R I 理事／パスト・ガバナー | 会 長 部 門 | 菅生 浩三 | 大 阪 北 |
| 直前R I 理事／パスト・ガバナー | 米 山 奨 学 部 門 | 近藤 雅臣 | 千 里 |
| 第3ゾーンロータリー・コーディネーター／パスト・ガバナー／地区研修リーダー | クラブ研修リーダー部門 | リーダー 井上 暎夫 | 千 里 |
| パスト・ガバナー | 会 長 部 門 | 戸田 孝 | 八 尾 |
| パスト・ガバナー | 会 長 部 門 | 大森 慈祥 | 茨 木 |
| パスト・ガバナー | 会 長 部 門 | 寺田 和之 | 大 阪 |
| パスト・ガバナー | 米 山 奨 学 部 門 | リーダー 若林 紀男 | 大 阪 東 |
| パスト・ガバナー | 幹 事 ・ S A A 部 門 | リーダー 神崎 茂 | 大 阪 西 |
| パスト・ガバナー | 社 会 奉 仕 部 門 | リーダー 新谷 秀一 | 池 田 くれは |
| パスト・ガバナー | 国 際 奉 仕 部 門 | リーダー 横山 守雄 | 大 阪 中 央 |
| パスト・ガバナー | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | リーダー 大谷 透 | 大 阪 西 南 |
| パスト・ガバナー | 職 業 奉 仕 部 門 | リーダー 松本新太郎 | 八 尾 |
| 直前ガバナー | 新 世 代 奉 仕 部 門 | リーダー 岡部 泰鑑 | 大 阪 城 南 |
| ガバナー・エレクト | 会 長 部 門 | リーダー 福家 宏 | 八 尾 中 央 |
| ガバナー・ノミネー／地区研修委員 | 会 長 部 門 | サブリーダー 泉 博朗 | 大 阪 帝 塚 山 |
| 地区研修委員 | 新 世 代 奉 仕 部 門 | サブリーダー 岩津 陽介 | 大 阪 御 堂 筋 本 町 |
| 地区研修委員 | 職 業 奉 仕 部 門 | サブリーダー 鈴木 洋 | 八 尾 東 |
| 地区研修委員 | 幹 事 ・ S A A 部 門 | サブリーダー 岡田 耕治 | 東 大 阪 東 |
| 地区研修委員 | クラブ研修リーダー部門 | サブリーダー 五味 千秋 | 大 阪 心 斎 橋 |
| 地区研修委員 | 米 山 奨 学 部 門 | サブリーダー 磯田 郁子 | 大 阪 東 淀 ち ゃ や ま ち |
| 地区研修委員 | 国 際 奉 仕 部 門 | サブリーダー 畑田 耕一 | 豊 中 |
| 次年度クラブ奉仕・拡大増強委員長 | ク ラ ブ 奉 仕 部 門 | サブリーダー 吉村 昭 | 大 阪 平 野 |
| 次年度広報委員長 | ク ラ ブ 奉 仕 部 門 | サブリーダー 岡村 剛行 | 大 阪 東 |
| 次年度職業奉仕委員長 | 職 業 奉 仕 部 門 | サブリーダー 岡本 雄介 | 大 阪 大 手 前 |
| 次年度社会奉仕委員長／I.M.第1組ガバナー補佐ノミネー | 社 会 奉 仕 部 門 | サブリーダー 西宮 富夫 | 箕 面 |
| 次年度青少年交換委員長 | 新 世 代 奉 仕 部 門 | サブリーダー 辻村 和弘 | 大 阪 大 手 前 |
| 次年度青少年活動委員長 | 新 世 代 奉 仕 部 門 | サブリーダー 西本 健二 | 吹 田 江 坂 |
| 次年度ロータリーアクト委員長 | 新 世 代 奉 仕 部 門 | サブリーダー 久保 義誓 | 茨 木 |
| 次年度インターアクト委員長 | 新 世 代 奉 仕 部 門 | サブリーダー 松井 隆雄 | 大 阪 天 王 寺 |
| 次年度国際奉仕委員長 | 国 際 奉 仕 部 門 | サブリーダー 栗原 大 | 大 阪 フ レ ン ド |
| ロータリー財団委員長 | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | サブリーダー 溝畑 正信 | 東 大 阪 東 |
| 次年度資金推進小委員長 | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | サブリーダー 今西 敦之 | 八 尾 |
| 次年度地区財団資金管理小委員長 | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | サブリーダー 和氣 主 | 大 阪 北 梅 田 |
| 次年度補助金小委員長 | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | サブリーダー 宮里 唯子 | 茨 木 西 |
| 次年度補助金小委員会地区補助金・グローバル補助金担当グループリーダー | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | サブリーダー 四宮 孝郎 | 大 阪 西 南 |
| 次年度補助金小委員会奨学金・学友・ロータリー平和フェローシップ担当グループリーダー | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | サブリーダー 梅崎 道夫 | 大 阪 城 南 |
| 次年度補助金小委員会職業研修チーム担当グループリーダー | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | サブリーダー 田邊 司郎 | 寝 屋 川 |
| 次年度米山奨学委員長 | 米 山 奨 学 部 門 | サブリーダー 西谷 雅之 | 大 阪 城 南 |

| 役 職 名 | 部 門 | | 氏 名 | クラブ名 |
|-------------------------|-------------------|--------|-------|---------------|
| I.M.第1組ガバナー補佐エレクト | 会 長 部 門 | | 正岡 哲 | 池田くれは |
| I.M.第2組ガバナー補佐エレクト | 会 長 部 門 | | 井上 義信 | 吹 田 |
| I.M.第3組ガバナー補佐エレクト | 会 長 部 門 | | 亀井 信昭 | 寝 屋 川 |
| I.M.第4組ガバナー補佐エレクト | 会 長 部 門 | | 辻本 一義 | 東 大 阪 |
| I.M.第5組ガバナー補佐エレクト | 会 長 部 門 | | 川崎 壽 | 大 阪 中 央 |
| I.M.第6組ガバナー補佐エレクト | 会 長 部 門 | | 山田 英男 | 大 阪 城 北 |
| I.M.第7組ガバナー補佐エレクト | 会 長 部 門 | | 杉浦 敬久 | 大 阪 船 場 |
| I.M.第8組ガバナー補佐エレクト | クラブ研修リーダー部門 | | 新見 葵 | 大 阪 天 王 寺 |
| I.M.第2組ガバナー補佐ノミニー | 会 長 部 門 | | 簡 仁一 | 茨 木 |
| I.M.第3組ガバナー補佐ノミニー | 新 世 代 奉 仕 部 門 | | 西邨 智雄 | 香 里 園 |
| I.M.第4組ガバナー補佐ノミニー | 会 長 部 門 | | 井川 孝三 | 八 尾 |
| I.M.第5組ガバナー補佐ノミニー | 会 長 部 門 | | 緒方 満 | 大 阪 北 |
| I.M.第6組ガバナー補佐ノミニー | 会 長 部 門 | | 戸田 和孝 | 大 阪 東 淀 ちややまち |
| I.M.第7組ガバナー補佐ノミニー | ロ ー タ リ ー 財 団 部 門 | | 矢田 勝利 | 大 阪 南 西 |
| I.M.第8組ガバナー補佐ノミニー | 会 長 部 門 | | 植村宏一郎 | 大 阪 平 野 |
| 地区代表幹事 | 幹 事 ・ S A A 部 門 | サブリーダー | 村橋 義晃 | 大 阪 中 之 島 |
| 次年度地区代表幹事/I.M.第4組ガバナー補佐 | 会 長 部 門 | サブリーダー | 山田 正雄 | 八 尾 中 央 |
| 次年度地区副代表幹事 | 会 長 部 門 | | 中井 敬和 | 八 尾 中 央 |
| 次年度財務委員長 | 会 長 部 門 | サブリーダー | 片岡 基博 | 八 尾 中 央 |
| 次年度地区会計/次年度地区幹事 | 幹 事 ・ S A A 部 門 | サブリーダー | 松下 和彦 | 八 尾 中 央 |
| 次年度地区幹事 | | | 吉本 憲司 | 八 尾 |
| 次年度地区幹事 | | | 山本与志弥 | 八 尾 中 央 |
| 次年度地区幹事 | | | 石川 義一 | 八 尾 東 |
| 次年度地区幹事 | | | 山本 光勇 | 大 阪 柏 原 |
| 次年度地区幹事 | | | 吉村 清明 | 八 尾 中 央 |
| 次年度地区幹事 | | | 泉 寛治 | 八 尾 中 央 |
| 次年度地区幹事 | | | 玉井 利宏 | 八 尾 中 央 |
| 次年度地区幹事 | | | 吉川日出子 | 八 尾 中 央 |

地区協議会実行委員会

実行委員長 野中 志郎
 実行副委員長 井川 孝三 (八尾)
 実行副委員長 笠井 靖彦 (大阪柏原)
 ホストクラブ会長 山本与志弥
 実行委員会幹事 柳 雄二
 実行委員会副幹事 中井 敬和
 実行委員会副幹事 川田 隆 (八尾)
 実行委員会副幹事 石川 義一 (八尾東)

全体会議担当委員

| 委員会 | 委員長 | 副委員長 | 委員 | | | | | |
|-------------|-------|----------|----------|-------------------|-------------------------------|--------|------------|--|
| 会場設営 運 営 | 吉村 清明 | 山本与志弥 | 野中 志郎 | | 松下 和彦 | | | |
| 案内・受付・接待 | 玉井 利宏 | 片岡 基博 | 5階・登録・受付 | IM第1組 | 宮川 清・西 秀樹・吉田 法功 | | (八尾) | |
| | | | | IM第2組 | 松井 良介・野村 俊隆・児林 秀一 | | | |
| | | | | IM第3組 | 笠井 靖彦・三田 昌孝 | | (大阪柏原) | |
| | | | | IM第4組 | 笠井 和憲・伊谷 祐一 | | | |
| | | | | IM第5組 | 石川 義一・森下 慶治 | | (八尾東) | |
| | | | | IM第6組 | 池本 繁喜・高岡 正和 | | | |
| | | | | IM第7組 | 玉井 利宏・泉 寛治・片岡 基博・藤木 良顕 | | | |
| | | | | IM第8組 | 玉井 利宏・泉 寛治・片岡 基博・藤木 良顕 | | | |
| | | | 来賓 | 大橋 生佳 | | | | |
| | | | | | | 5階E V前 | 吉川日出子・山倉 登 | |
| | | | 1階 | 深井 達雄・並河 勇人 | | | | |
| | | | 本会議場 | 入口 | 野中 志郎・柳 雄二 | | | |
| | | | | | 長竹 浩(八尾)・巽 教(大阪柏原)・桑田夕ア子(八尾東) | | | |
| | | | 中 | 吉村 清明・山本与志弥・松下 和彦 | | | | |
| 記 録 | 柳 雄二 | 吉本憲司(八尾) | | | | | | |
| 救 護 | 泉 寛治 | 松尾 汎 | | | | | | |
| 会 計 | 片岡 基博 | 松下 和彦 | | | | | | |

部門別協議会担当委員

| 部門別協議会委員長 | | 中井 敬和 | |
|-----------|-------------|------------------------|-----------------------------|
| 部 門 | S A A | 副S A A | 地区委員 |
| 会長 | 中井 敬和 | 並河 勇人 | |
| 幹事・S A A | 山本与志弥 | 松尾 汎 | |
| クラブ奉仕 | 玉井 利宏 | 泉 寛治 | 吉村 昭(大阪平野) |
| 職業奉仕 | 森下 慶治(八尾東) | 石川 義一(八尾東) | 北川 忠嗣(東大阪東) |
| 社会奉仕 | 野中 志郎 | 大橋 生佳 | 脇 隆俊(大阪御堂筋本町) |
| 新世代奉仕 | 津田 伸一(八尾) | 柏木武生宜(八尾) 松岡 伸晃(八尾) | 井上 善博(東大阪みどり) |
| 国際奉仕 | 吉村 清明 | 山倉 登 | 糸川千恵子(大東中央) |
| ロータリー財団 | 坂本 憲治(八尾) | 谷口 俊文(八尾) 山陰 恭志(八尾) | 天野 正亮(東大阪東) 吉城 直孝(東大阪) |
| 米山奨学 | 深井 達雄 | 吉川日出子 | 吉田 悦治(大阪大淀) 白方 彰三(大阪なにわ) |
| クラブ研修リーダー | 大谷 隆英(大阪柏原) | 楠本 菊實(大阪柏原) | |